

寒地型芝生の利用で冬もグリーンに!!

オーバーシーディング



今ノオーバーシーディングライグラス「フェアウェイ」が注目されています

●オーバーシーディングには次の種類があります。

I

暖地型芝(夏芝)へのオーバーシーディング

- a) 冬季利用型 秋に寒地型芝の種子を夏芝のベースの上に播種し、冬期間のみ利用した後、夏には再びベースの夏芝に戻します(ウインターオーバーシーディング)。この場合、使用する種子はなるべく生育期間が短く、夏芝への移行がたやすい種類のものを利用するか、除草剤などで強制的に交代を促します。
- b) 通年利用型 夏芝のベースに寒地型芝の種子を播種し、冬期間だけでなく、通年利用し、徐々に寒地型の芝に完全に切り替えます。暖地のティーフランドには、この方式が増えています。この場合、暖地では利用する寒地型芝の夏枯れが問題になりますので、夏枯れに強い品種を選択します。

II

寒地型芝へのオーバーシーディング

夏枯れや冬枯れなどの傷害を受けた芝地・芝生の補修や新品種への切り替えを目的として行います。

■オーバーシーディングの播種量 (g/m²)

草種名	ゴルフ場			一般芝生競馬場等
	グリーン	ティー	フェアウェイ	
オーバーシーディングライグラス	—	60~100	40~60	40~80
ペレニアルライグラス	120~200	50~100	30~60	30~60
トールフェスク	—	80~120	40~80	40~80
ケンタッキーブルーグラス	—	40~60	30~50	20~40
ファインフェスク	100~150	80~120	40~80	40~80
ベントグラス	10~15	10~15	4~6	—



適草種・品種選定試験

※オーバーシーディングに関するパンフレット・資料などを用意しています。ご請求ください。